

*教科等研究グループについて

戸田市立教育センター教科等研究グループ（教育センター研究員）は、教師としての資質と指導力の向上と、戸田市の教育の充実を目的として研究を推進しています。今年度は新たにSTEAM教育とPBLを視点として加え、各部会でテーマ設定をし、11部会が研究に取り組みました。

国語部会

主体的・対話的で深い学びを、
児童生徒が実感できる授業づくり
～国語科における思考ツールを生かした授業づくり～

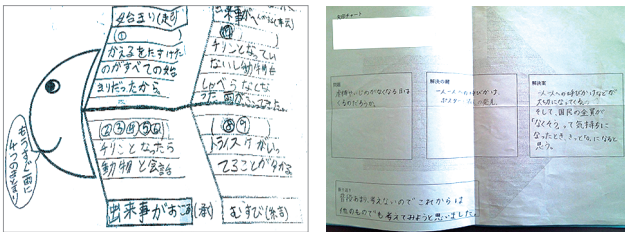
■研究内容

【指導案や教材を持ち寄り、指導法の共有や協議】

- ・身に付けさせたい資質能力をつけるための思考ツールの活用
- ・語彙力・表現力を向上させる教材研究
- ・児童生徒に興味関心をもたせる授業づくり

■研究成果

- 意欲の向上
- 思考の整理
- 思考の視覚化
- 授業のねらいに沿った思考ツールの選択
- 思考ツールの応用の仕方



社会部会

主体的・対話的で深い学びを実現する
社会科の学習指導
～教科等横断的な学びを通して～

■研究内容

【指導法の視点から】

- ・問題解決的な学習の実現（つかむ・調べる・まとめる・生かすの指導の充実）
- ・ICTの活用など、児童の主体的な活動の動機付け

■研究成果

- ・資料から発見したことを共有することで、新たな疑問が生まれ、新たな視点で調べ活動が広がっていった。
- ・ICT（ロイロノート）を活用することで、考えを自由に表現できた。
- ・自らが資料に向き合うことで、その後の話し合い活動が充実し、深い学び合いへとつながった。



算数・数学部会

創造的な学習による21世紀型スキルの育成
～主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善～

■研究内容

- ・創造的な学習の考察、授業実践の検討
- ・主体的・対話的で深い学びの在り方
- ・統合的・発展的な考察を含んだ「数学的な見方・考え方」

■研究成果

- ・創造的な学びを構築し、21世紀型スキルを育成することについて、授業研究会（小学校第5学年での実践）を通し、以下の三点について検証することができた。
- ①児童生徒が自ら問題を見いだしたり自覚したりする問題提示
- ②統合的・発展的な考察を含む数学的な見方・考え方を働かせる授業展開
- ③深い学びを促す、対話と協働



音楽部会

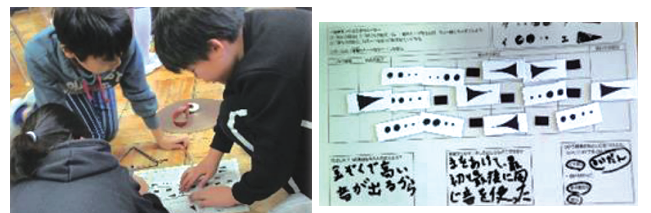
音楽的な見方・考え方を働かせる
主体的・対話的で深い学びの探究

■研究内容

- ・児童が自己のイメージや感情と音楽を結びつけるための教師の支援の工夫
- ・〔共通事項〕を柱とした主体的、対話的な学習を促す教具、授業展開や学習形態の工夫

■研究成果

- ・〔共通事項〕を学習の支えとすることが、児童が音楽的な見方・考え方を働かせながら音や音楽の仕組みへの理解を深めていくことに効果的であった。
- ・教具や授業展開を工夫することにより、児童が興味・関心をもって主体的に学習に取り組み、深い学びを実現することにつながった。



体育・保健体育部会

主体的・対話的で深い学びを、
児童生徒が実感できる授業づくり
～アクティブ・ラーニングの視点による
ICTを活用した体育授業の実践～

■研究内容

- ・体育授業でのICTの利活用について
- ・体育授業における「主体的・対話的で深い学び」について

■研究成果

- ・子供たちが、知識や技能を働かせながらICTを活用することで、自己の課題の発見や試行錯誤を繰り返しながら、思考を広げたり深めたりすることができ、主体的に学習へ取り組む姿が見られた。

【主体的な学び・深い学び】

- ・動画や写真をグループで見合い、思考力・判断力・表現力を働かせる機会は、協調学習の充実につながった。

【対話的な学び】



外国語活動・外国語部会

単元を通じた豊かなコミュニケーションに
つながるアクティビティの研究

■研究内容

- ・単元を通してモジュール学習と45分授業の内容がリンクした、伝え合うことが楽しくなるアクティビティ
- ・コミュニケーションを円滑にするための効果的なICTや具体物の活用

■研究成果

- ・単元全体での見通しをもったアクティビティを考案し、児童同士の伝え合いが充実した授業実践につながった。
- ・ICTや具体物を実生活に結びつく場面で効果的に活用することで、相手意識・目的意識が高まり、児童が主体的に豊かなコミュニケーションを図れていた。
- ・目的に応じてICTと具体物のよさを見極めて活用することが大切であるため、今後も研究を続けていきたい。



プログラミング・STEAM教育部会

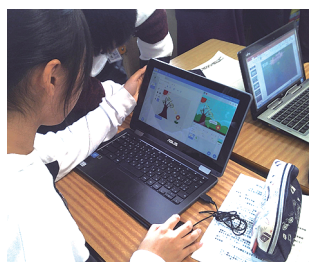
プログラミング的思考の育成
～考えよう やってみよう 広げよう～

■研究内容

- ・プログラミング的思考を育成する授業づくり（市・小中一貫カリキュラム以外 B分類・C分類）
- ・プログラミング教材の情報収集及び発信

■研究成果

- ・多くの教材に触れ、各教材の特徴やよさを知り、効果的な活用方法等の協議を重ね、授業づくりに生かすことができた。（Artec理科セット、SPHERO等）
- ・戸田市プログラミング教育推進委員会との連携により各校におけるプログラミング教育推進の一助となった。



特別支援教育部会

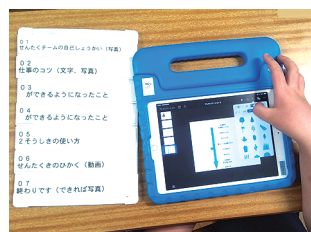
配慮を要する児童への支援、
個に応じた指導方法の工夫

■研究内容

- ・個に応じた教材教具の工夫 ・事例研修
- ・特別支援教育におけるICT活用

■研究成果

- ・事例研修を通して、配慮の必要な児童生徒の行動の背景を様々な視点から見つめ、具体的な支援策を模索できた。
- ・導入されたiPadの活用方法や実践事例を共有することで、支援の方法を広げることができた。今後、一人一人の特性に応じた活用方法についても深めていきたい。
- ・効果が見られた教材教具など指導方法の工夫について協議した。特別支援学級だけでなく、通常学級にも特性に応じた支援について理解を広げるようにしていきたい。



リーディングスキル部会

リーディングスキルを育むための授業づくり
～リーディングスキルテストの視点からの授業改善～

研究内容

- ・児童のリーディングスキルに関するつまずきの原因を様々な視点から検証することを通じて、効果的な手立てについて考察する。

研究成果

- ・リーディングスキルの視点を生かした授業づくりでは、今年度授業研究会を開催し、研究テーマに沿った協議をすることができた。またICTを活用することで、主体的・対話的で深い学びの視点に立ち、学びの質の向上についても協議することができた。
- ・リーディングスキルを向上させていくためには、普段の授業を見直し、当たり前を再構築していく必要性に気付くことができた。



イノベーション・PBL部会

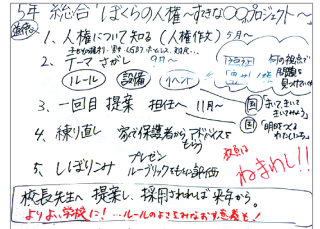
実社会とつながるPBL型授業の創造
～未来を切り拓くイノベーターの育成を目指して～

研究内容

- ・戸田市PBL/STEAM教育アドバイザー 遠藤慶太郎様による、理論研修
- ・各学校でのPBL実践発表と研究協議
- ・PBL実践例の蓄積・共有

研究成果

- ・昨年度、イノベーション教育部会でまとめた「授業改善の3つの柱」にPBLの視点を加え、概念的理理解が深まった。
- ・各学校の多様な実践事例を知り、戸田型PBLのイメージを広げることができた。
- ・実践事例をもとに授業プランを創り出すことができた。
- ・全校で共有できるように、市共有フォルダに実践例や授業プランを蓄積できるようにした。
- ・先生方との交流を通じ、横のつながりを強められた。



特別活動部会

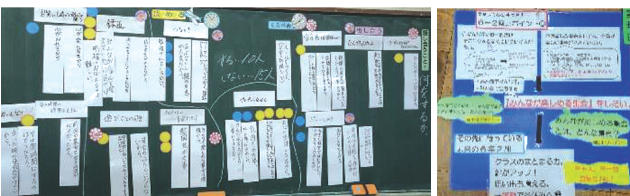
集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせる児童の育成を図る指導と評価の工夫

研究内容

- ・児童の思考を整理する板書の可視化・操作化・構造化
- ・児童の思いや願いを生かす指導の工夫

研究成果

- ・話し合いで、児童が実現したいことだけでなくその理由も板書することで、一人一人が大切にしている価値をわかり合うことができ、合意形成を図ることができた。
(クラゲチャート・思考ツールの活用)
- ・事前・本時・事後の活動で、児童が提案理由(なぜその活動を行うのか)から逸れてしまったとき、教師が適切な助言をすることでより児童の思いや願いを実現することができた。



夏期全体研修会

新時代に向けた学校ビジョンを描く
～10年後の理想の未来を実現するために、
今何をすべきか～

〈講師〉
株式会社ロジックアンドエモーション
代表取締役
佐々木 繁範氏

学校の先生も管理職も行政職員も垣根を越えて語り合う
ワークショップ



センター研究員発表会講演会

探究を促す問いをデザインするには

〈講師〉
こども国連環境会議推進協会
事務局長
井澤 友郭氏

探究的な問いづくりを通して
「主体形成」が育成される
実践的ワークショップ

